

文化財センター通信
【かぎぐるま】

風車

第 17 号

平成17年11月28日発行



紀州の歴史と文化の風

財団法人 和歌山県文化財センター



発掘調査現場 遠景

太田・黒田遺跡(県1次) 発掘調査 中間概要報告

今年8月末より和歌山市黒田において太田・黒田遺跡の発掘調査を実施しています。(報告 仲原知之)

太田・黒田遺跡とは

現在まで約60回もの発掘調査が実施された結果、弥生時代前期から中期(今から二千五百〜二千年前)にかけての住居跡や環濠などが検出され、和歌山県下最大級の弥生時代集落跡と考えられています。今回の調査区北側にある黒田公園からはかつて弥生時代に埋められた銅鐸(青銅

製の祭りの道具)が発見されています。

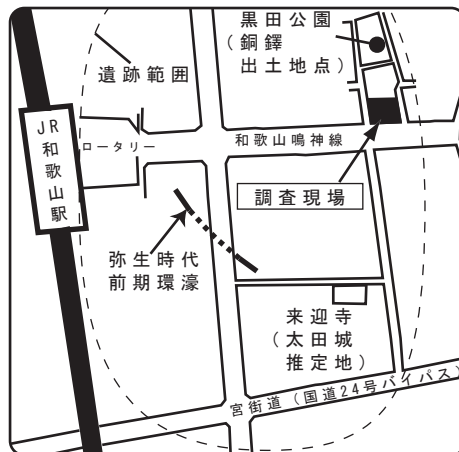
このほか、古墳時代の住居跡や奈良時代の井戸、室町時代の溝などが検出されています。また、羽柴秀吉(豊臣秀吉)が紀州攻めの際におこなった水攻めで有名な太田城が近くにあったと推定されています。ただし、今回の調査では太田城関連の遺構や遺物は確認できませんでした。

今回の発掘調査について

太田・黒田遺跡の範囲内で和歌山労働局新庁舎が建設されることになり、当センターが発掘調査を実施することになりました。調査面積は約八〇〇㎡で、土置き場の関係で調査区を東西2つに割って(西側をA区、東側をB区)、半分ずつ調査していきます。現在A区の調査を終了し、B区を調査中です。



かつて調査区の北側で発見された銅鐸(きのくのにの銅鐸より)



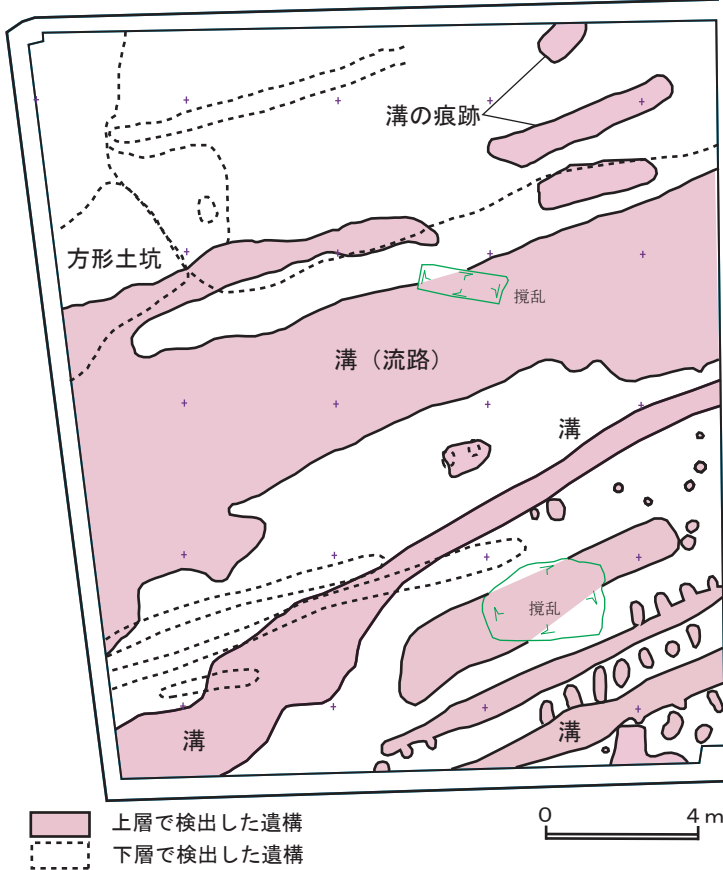
発掘調査地点 位置図

— 第17号の主な内容 —

1. 太田・黒田遺跡(県1次) 発掘調査 中間概要報告
2. 太田・黒田遺跡 第1回現地公開の報告

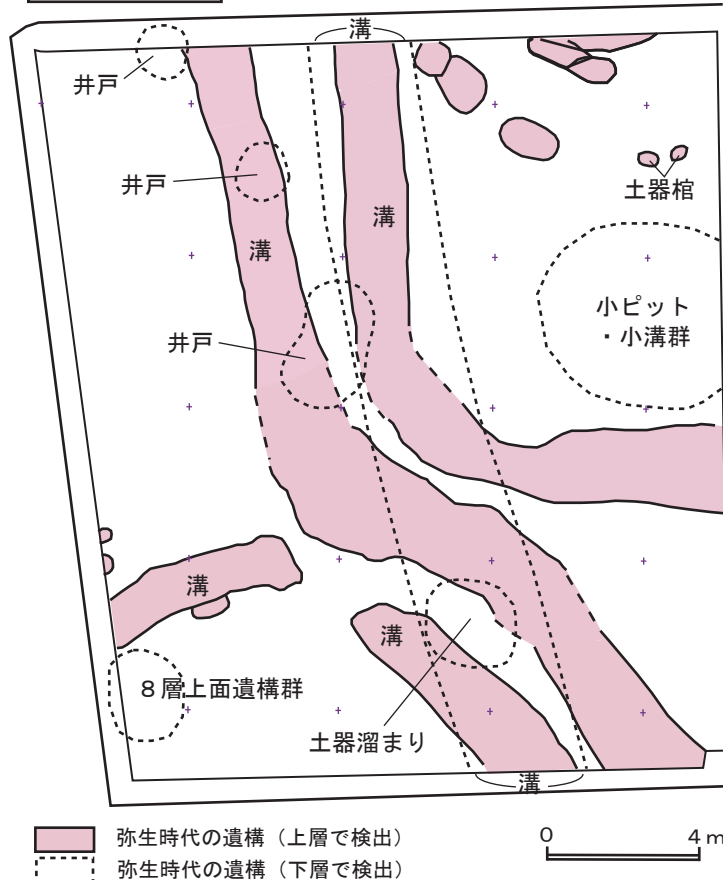
奈良時代

3-2層上面 遺構検出状況



弥生時代

4層上面 遺構検出状況



調査方法と土層堆積

今回の調査では、現代の盛土(0層)・耕作土(1層)を重機で掘削した後、人力による掘削をおこなって調査を進めました。堆積している土層は、上から江戸時代の層(2層)、奈良時代の層(3-1層~3-3層)、弥生時代の層(4層)、谷状地形の堆積(5・6層)が堆積しており、上から各層ごとに順番に掘削をおこない、各層の上面で溝などの遺構を検出していきました。

A区の発掘調査成果

A区の調査終了時点での成果を紹介していきます。2層上面で江戸時代以降の鋤溝群(耕作関係の小溝)、3層上面(2層下面)でも江戸時代の鋤溝群を検出しました。3-2層上面では、奈良時代の東西方向に流れる複数の溝・流路を検出しました。溝・流路からは(飛鳥時代~)奈良時代の須恵器が多く出土しています。4層上面では、弥生時代(中期)の複数の溝と土器棺、井戸、土坑、

土器溜まりなどを検出しました。4層上面の遺構は、調査区を南北に走る谷状地形が埋まってから掘られていました。谷状地形の埋土からも弥生時代の土器(中期初頭か)が多く出土しています。

弥生時代の遺物は、中期の土器を中心に、前期の土器が少量出土し、石器では、サヌカイト製の石鏃・石錐、結晶片岩製の石庖丁・大形石庖丁・片刃石斧・環状石斧、緑色凝灰岩製の管玉などが出土しています。

土層堆積図(A区)

0層	現代盛土	110cm	機械掘削
1-1層	現代耕作土	5cm	
1-2層	現代床土	3cm	
2層	褐色シルト	12cm	→江戸時代
3層	黄灰色シルト	10cm	→奈良時代
4層	黒褐色シルト	55cm	→弥生時代
5層	黒灰色シルト	20cm	→谷状堆積(弥生時代)
6層	黄灰色細砂	20cm	→谷状堆積(弥生時代)
7層	灰色細砂		→河川堆積
8層	黄褐色シルト		→弥生時代
9層	黄褐色シルト		→地山
10層	青灰色シルト		→湿地状堆積



3-2層上面 流路・溝 <奈良時代>



3層上面(2層下面) 鋤溝群 <江戸時代>



4層上面 土器棺 <弥生時代>



4層上面 溝・土坑 <弥生時代>



環状石斧 <弥生時代>



片刃石斧 <弥生時代>



遺構90(流路)出土須恵器はそう<飛鳥~奈良時代>



石庖丁 <弥生時代>



大形石庖丁 <弥生時代>



遺構140-S(井戸)出土 弥生土器 壺 <弥生時代>



太田・黒田遺跡 第1回現地公開の報告

平成17年10月8日(土)13時半～16時 開催

1. 概要 当日は雨天にもかかわらず大勢の参加者があった。受付で土器や石器を展示して、実際に触ってもらうようにした。説明は、太田・黒田遺跡の既往の調査例などを説明した後、今回の調査区での層位と年代の解説をして、検出している弥生時代の遺構の説明をおこなった。

2. 参加者について

・参加者 計67名(男性44名・女性23名)

内訳 和歌山市太田および黒田(地元) 32名

その他の和歌山市内29名

その他の市町村4名 不明2名

*地元の見学者が大半を占める。調査区外から調査風景が見える現場なので地元への関心が高い。反面で他の地域への宣伝が課題となる。

3. アンケート結果(回答19名)

◎【性別と年齢】

男性	10代2名	20代1名	30代2名	40代2名
女性	50代1名	60代5名	70代2名	80代1名
	10代0名	20代0名	30代0名	40代1名
	50代0名	60代2名	70代0名	80代0名

*当日アンケート用紙が足りなくなりましたが、配布30枚中19枚が回収できた。すべての年齢層が来ているが、10代は小中学生で、10代後半はいなかった。

◎【説明・展示について】

わかりやすい16名(うち3名わかりにくい)0名

◎【他の遺跡の現地説明会について】

♫ 何度も行っている：5名

♫ 近くなら行く：7名 ○ 今回始めて来た：7名

*始めて来た人の割合が多い。近くなら行く人と合わせて地元での関心の高さが伺える。

◎【現地公開についてどこで情報を知りましたか】

♫ 新聞(毎日新聞、ニユース和歌山)：11名

♫ インターネット：1名 ○ 知人から：1名

♫ 現地案内板：6名 ♫ 自治会回覧板：1名

*新聞での情報入手が多い。特に当日朝のニユース和歌山に掲載された効果は大きかったと思う。

*現地のフェンスに現地公開の案内板を掲示したことは効果的であったといえる。

◎【今回の現地公開についての感想】

10代男性 近所にもこんな遺跡があるなんて知らなかった。

10代男性 長年太田に住んでいるが、遺跡があるとは思わず改めて勉強になった。

10代男性 まだ公開して下さい。

30代男性 展示品に何に使うか一言書いてほしい。

30代男性 多くの人に知ってもらおう工夫がほしい。

40代女性 近所で気になっていたものでうれしかった。

50代男性 雨が降った後なのでちょっとわかり難い。

60代男性 遺跡からの説明でよかった。

60代男性 ベルトコンベアー(見えるのを)邪魔

60代女性 土器に触れてうれしいことです。

70代男性 土層の違いがはっきり実証された。

70代男性 説明・展示がよかった。



現地公開風景

《編集後記》太田・黒田遺跡の発掘調査継続中。皆さん是非見学にお越し下さい。なおB区の現地説明会を12月10日(土)頃に予定しています。正式決定は左記ホームページで確認して下さい。(仲原)

風車 第17号

平成17年11月28日 発行

(財)和歌山県文化財センター

〒640-8404

和歌山市湊571-1

Tel : 073 (433) 3843

Fax : 073 (425) 4595

e-mail : maizou-1@wabunse.or.jp

URL http://www.wabunse.or.jp